補助金の交付を受けようとする方は、総合防災安全課に下記資料を提出してください。

申請書は総合防災安全課窓口、電子申請、郵送にて受付。

感震ブレーカー・家具類転倒防止資機材共通

必 須

① 申請書　② 領収書　③ 設置状況を確認できる写真等
④ 申請者の本人確認書類の写し　⑤ 振込口座情報の写し

電子申請の入力フォームはこちら!

上記に加え、賃貸住宅の場合

① 管理者等の同意書

委任する場合

① 委任状　② 代理人の本人確認書類の写し

よくある質問

Q.事業開始前に購入したものについて補助対象となるか。
A 対象外です。

Q.補助対象者は誰ですか?
A 市内に住民登録があり対象住宅に居住する世帯を対象とします。

Q.1世帯で複数回申請できますか?
A 感震ブレーカー、家具類転倒防止資機材ともにそれぞれ1世帯1回限りです。

Q.賃貸住宅でも申請できますか?
A 可能ですが、工事が必要な場合は大家や管理会社の同意を得てから申請をお願いします。

Q.対象製品に型式指定はありますか?
A 型式指定はありません。本補助制度で定めた要件を満たす製品を対象とします。

Q.クーポン利用やポイント利用分は対象ですか?
A 対象外です。

Q.対象には、家具類転倒防止資機材の取付費も含まれるか。
A 補助対象です。

Q.高齢者家具転倒防止器具等取付事業との併用可能か?
A 併用可。ただし、併用の場合の補助対象は購入費のみ。相談は地域包括支援センターまたは高齢者支援室高齢福祉担当へ。他補助金制度との併用は不可です。

Q.東京都の出火防止対策促進事業により感震ブレーカーを設置しているが、買い換える場合補助の対象となるか?
A 対象外です。

Q.ネット通販で購入した場合は?
A 補助対象です。

Q.領収書に記載が必要な項目はありますか?
A ①購入者名　②購入品目　③購入(領収)日　④領収金額

Q.補助金が振り込まれるまでの期間は?
A 申請受付後2～3ヶ月の予定です。

Q.個人間で売買したものは?
A 対象外です。

Q.送料や手数料などの諸経費は補助対象になりますか?
A 対象外です。

Q.キャッシュレス決済は対象ですか?
A 領収書があれば対象です。

Q.家具類転倒防止資機材の設置だけ依頼した場合は?
A 補助対象です。

Q.感震ブレーカーの工事だけ依頼した場合は?
A 対象外です。対象製品の購入を伴う場合に限り対象です。

Q.住宅購入時に感震ブレーカーがついた分電盤を設置したが、全体の金額の領収書しかない場合は?
A 感震ブレーカーに係る金額が確認できない場合は対象外となります。

Q.感震ブレーカーまたは家具類転倒防止資機材を購入したが、自宅の分電盤等に適合せず設置できなかった。購入費用は補助対象になりますか。
A 補助対象となるのは、住宅への設置が完了した感震ブレーカーまたは家具類転倒防止資機材です。購入後に設置できないことが判明した場合や、返品できない場合であっても、設置が完了していない機器は補助対象外となります。購入前に、住宅の設備に適合する資機材であることをご確認ください。

問い合わせ先　調布市役所 総合防災安全課 防災対策係　TEL:042-481-7346

令和8年度

調布市家具類転倒防止資機材・感震ブレーカーの購入費等補助事業

地震から命を守る!!

今すぐできる2つの備え!

感震ブレーカー と **家具類転倒防止資機材**



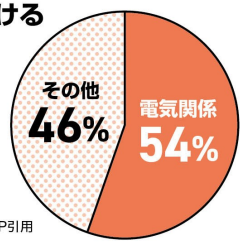


令和8年6月 内閣府は令和17年を目標年度として、首都直下地震の被害想定を約半数に減らす減災目標を掲げ、「首都直下地震緊急対策推進基本計画」を進めています。感震ブレーカー、家具類転倒防止資機材が設置されると、地震による死者や建築物の全壊・焼失・倒壊を大幅に減らすとされています。

地震による火災を防ぐために 感震ブレーカー

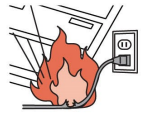
東日本大震災における火災の発生原因

東日本大震災では、54%の火災が電気復旧後の通電により発生!



消防庁 HP引用

通電火災のメカニズム



転倒した家具の下敷きになり損傷した配線などに再通電し、発熱発火する。

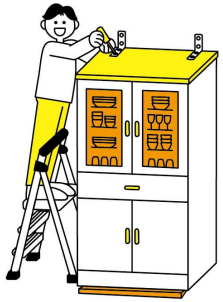


落下したカーテンや洗濯物といった可燃物がヒーターに接触した状態で再通電し着火する。



転倒したヒーターや照明器具(白熱灯など)が可燃物に接触した状態で再通電し着火する。

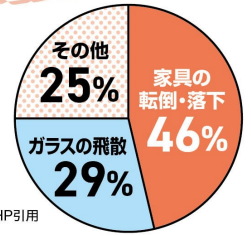
地震による建物内での負傷を防ぐために 家具類転倒防止資機材



阪神・淡路大震災時に、建物の中でけがをした人の割合

地震が起きると、家具が倒れることで大けがにつながることがあります。家具の固定対策をすることで身を守ることができます。今のうちに安全対策をしておきましょう。

地震だ!まず身の安全!!



内閣府HP引用

調布市

調布市では「感震ブレーカー」(最大2万円まで)と「家具類転倒防止資機材」(最大1万円まで)の補助を実施中です。詳細は中面をご参照ください。※受付は令和9年2月26日まで



感震ブレーカー

地震を感知して自動的に電気を遮断し、電気が原因の火災を防ぐための機器です。

あなたに合った感震ブレーカー診断!

簡単1分で最適なタイプがわかる!!

START

自宅の分電盤に感震ブレーカーがついているか?

分電盤は、自宅の玄関、洗面所、キッチンなどに設置されることが多いです。感震ブレーカーが設置されているかは、分電盤のカバーなどに「感震機能」「感震機能付分電盤」などの表記があるかを確認してみましょう。

ついている → **設置年数を確認しましょう!**

設置後「10年」を経過していたら、取り替えを検討しましょう。製品によって異なりますが、交換時期は一般的に「10年程度」とされています。

ついていない → **自宅に災害時でも電気を止めてはいけない機器があるか?**

「ある」人の例: バッテリーを備えていない医療機器を使用しており、急に電気を遮断することが命に関わる方など。

ある → 感震ブレーカーが作動すると、停電が発生するため、足元灯や懐中電灯などの照明器具を寝室等に常備しましょう。

ない → **分電盤内の漏電遮断器に機能追加ができるか**

できる → **4 分電盤型 内蔵型・後付型**

「内蔵センサー」で遮断

感震装置が分電盤に内蔵されたもの、後付されたもの、センサーが揺れを感知し、一定の時間(3分程度)を経過後、電気を遮断する。

取付できないものもあるため取付の可否については必ず購入前に事業者に確認してください。

補助上限額 20,000円 工事費含む

できない → **自宅にアース線のついているコンセントがあるまたは、アース線を取付ける工事が可能である**

ある・可能 → **2 コンセント型 一括遮断型**

「内蔵センサー」で遮断

※漏電ブレーカーが必要

コンセントに設置、内蔵されたセンサーが揺れを検知し、アース線に電流を流し、漏電ブレーカーを動作させ電気を遮断する。

設置できるコンセントがあるか確認しましょう。※アース付コンセントが必要

補助上限額 工事を伴う場合 20,000円 / 工事が不要な場合 7,000円

ない → **3 簡易型 おもり式・バネ式**

「おもり落下」や「バネ作動」で遮断

分電盤に直接設置する。おもりの落下、バネの作動によって主幹ブレーカーを落とすことで電気を遮断する。

分電盤の形状を確認し、設置できるか確認しましょう。※形状によっては取付困難

補助上限額 7,000円

ある → **1 コンセント型 特定機器遮断型**

「内蔵センサー」で遮断

コンセントに設置、内蔵されたセンサーが揺れを検知し、接続した機器のみを遮断する。

メーカーの製品を見て購入を検討しましょう。

補助上限額 7,000円

購入前にご自宅に設置可能か販売元に確認ください。

調布市感震ブレーカー購入費等補助事業

対　象	感震ブレーカーの設置が必要な調布市に住所を有する世帯
補助方式	感震ブレーカーの購入・工事費用を申請者に補助
補助対象	上記①②③④のうち1種類／世帯
受付期間	令和8年11月5日から令和9年2月26日 ※期間内であっても予算上限に達し次第、受付終了となります

機器購入及び設置工事事業者一覧はコチラから!



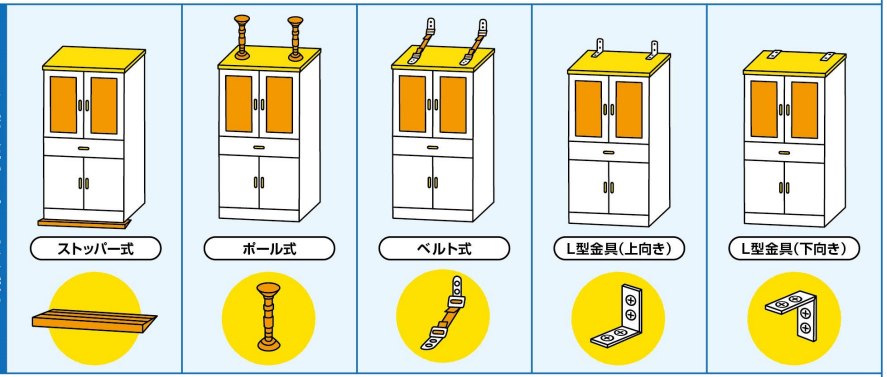
家具類転倒防止資機材

大切な家族を守るために、今できる地震対策!!

事前に家具類転倒防止資機材で対策して、危険を未然に回避しましょう!

小 ← 耐震用品の効果 → 大

家具類転倒防止資機材

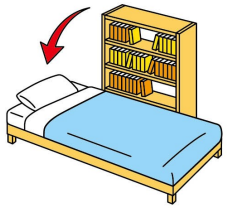


最も効果の高い家具類転倒防止資機材はネジで固定するもの(L型金具等)です。できるだけ、ネジで固定することを心がけましょう。しかし、賃貸住宅や大切な家具にキズをつけたくない方には、穴を開けなくて済む器具を、2つ以上組合わせて行う方法がオススメです。
例えば、「ストッパー式器具」と「ボール式器具」を2つ組み合わせることで、一番効果の高いL型金具と同等の効果を発揮します。

ご自宅に設置可能か確認のうえ購入しましょう。

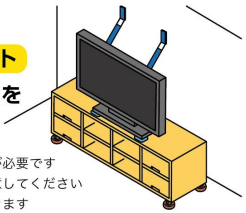
特に気を付けるべきこと

寝室を特に対策しましょう!



家具類転倒防止資機材取付け例

テレビには ベルト 粘着マット キャスター下皿 を付けましょう!



※ベルト取付けには壁の強度が必要です
※粘着マットの有効期限に注意してください
※キャスターを下皿で固定できます

家具類の転倒防止対策を行うことで、発災後の復旧作業がスムーズになり、早期に日常生活を取り戻すことができます。

調布市家具類転倒防止資機材購入費等補助事業

対　象	家具類転倒防止資機材の設置が必要な調布市に住所を有する世帯
補助方式	家具類転倒防止資機材の購入・設置費用を申請者に補助
補助対象	突っ張り棒、L字金具、ベルト式固定器具、ストッパー、くさび型器具、チェーン・ワイヤー固定など ※補助上限額の範囲内で複数選択可
補助上限額	10,000円／世帯 ※購入費用に取付費を含む
受付期間	令和8年11月5日から令和9年2月26日 ※期間内であっても予算上限に達し次第、受付終了となります

資機材購入及び設置事業者一覧はコチラから!

※なお、65歳以上の1人暮らし、または65歳以上の者のみの世帯の方は、高齢者家具転倒防止器具等取付事業との併用可。
相談は地域包括支援センターまたは高齢者支援室高齢福祉担当へ

連絡先:042-481-7150